

アナログな店舗管理による収益構造の不透明さを分析し、デジタル化とシステム連携を検討。コスト高騰に負けない強い店舗運営を実現し、多店舗展開を支える分析基盤を構築する計画を策定。

株式会社オオクボフーズ				https://iikagen-ya.com/	
本社所在地	益田市乙吉町イ 336-4	資本金	1,000万円	事業概要	地域密着型の飲食店（居酒屋等）の運営
代表者名	河野 誠治	従業員数	51名		
設立年	2000年	業種	飲食業		

背景

- 原材料費や人件費の高騰により利益構造が厳しくなる中、店舗管理や事務処理が手書きやアナログに依存しており、経営数値の把握に遅れが生じている。
- 売上、仕入、勤怠などの主要データが分断されており、顧客の来店傾向や店舗別の収益構造を詳細に分析する基盤が整っていない。
- 本部での集計・転記作業に多大な工数を要しており、現場の負担軽減と経営判断の迅速化が持続的成長のための最優先課題となっている。

計画の骨子

店舗業務の電子化と可視化推進

- ▶ POSレジや勤怠管理、帳票管理を順次デジタル化し、本部で店舗状況をリアルタイムに把握できる環境を整えることとした。
- ▶ 紙台帳への依存を脱却して現場の負担を軽減し、共通認識に基づいた運営改善を図る計画を策定した。

システム連携による業務効率化

- ▶ 電子化された売上・勤怠データを会計ソフト等と自動連携させ、本部事務の転記ミス解消と大幅な省力化を実現することとした。
- ▶ 捻出した時間を運営改善や戦略立案にシフトし、将来的な新規出店にも横展開可能な運営基盤を確立する方針を策定した。